

I 水道・下水道の財政状況

水道事業・下水道事業はお客さまからの水道料金・下水道使用料で運営しています。
令和3年度決算を踏まえた財政状況をお伝えします。

(水道事業の状況)

令和3年度は、12億6千万円の純利益を確保することができました。

収入の大部分を占める水道料金は、人口の減少や節水意識の定着などにより、前回水道料金を改定した平成6年度をピークに減少傾向となっています。

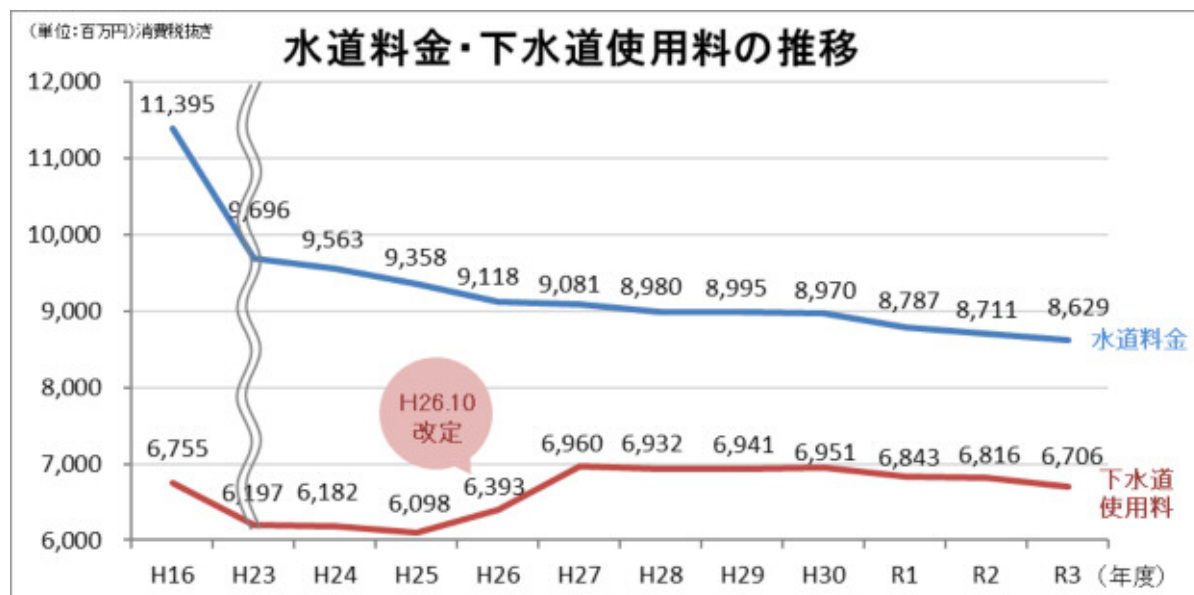
支出については、水道施設の更新費用に充てる減価償却費や、神奈川県内広域水道企業団から水道水を購入する費用の受水費が大きな割合を占めています。

(下水道事業の状況)

令和3年度は、6億5千万円の純利益を確保することができました。

収入の大部分を占める下水道使用料は、前回、下水道使用料を改定した翌年度の平成27年度をピークに減少傾向となっています。

支出については、下水道施設の更新費用に充てる減価償却費や、浄化センターの運転等に係る委託料が大きな割合を占めています。



(水道・下水道事業統合)

(今後の事業運営)

令和3年度は、水道事業・下水道事業ともに純利益を確保できましたが、水需要の減少及び水の使われ方の変化に伴う料金収入の減少や、古くなった施設の更新費用及び維持管理費用の増加により、経営は、ますます厳しくなることが見込まれています。

このため、水需要の減少及び水の使われ方の変化がある中でも、安定した水道・下水道サービスを提供するため、令和5年4月に水道料金・下水道使用料を改定します。

今後も、上下水道局では、経営目標の「未来につながる最適な水『道』・下水『道』」を実現できるよう努めてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。